

NSG グループ

2023年3月期 通期決算報告

(2022年4月1日～ 2023年3月31日)

2023年5月12日

細沼 宗浩
代表執行役社長 兼 CEO

楠瀬 玲子
執行役常務CFO

目次

1. 2023年3月期 通期決算概要
2. 2024年3月期 業績予想について
3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗
4. RP24の最終年2024年3月期に向けて
5. まとめ

1. 2023年3月期 通期決算概要

連結損益計算書

売上高および営業利益は増収増益を継続、営業利益は通期業績予想を24%上回る
特に自動車用ガラス事業で営業利益が大幅に改善

(億円)	1-3月期 (3か月)			通期累計 (12か月)			FY23通期 業績予想
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	
売上高	1,576	1,973	397	6,006	7,635	1,630	7,500
営業利益	55	107	52	200	348	148	280
営業利益率	3.5%	5.4%	+1.9pt	3.3%	4.6%	+1.3pt	3.7%
個別開示項目 (純額)	△ 7	△ 12	△ 5	36	△ 452	△ 488	△ 440
個別開示項目後 営業利益 (△損失)	48	94	47	236	△ 103	△ 340	△ 160
金融費用 (純額)	△ 34	△ 61	△ 26	△ 125	△ 174	△ 49	△ 150
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	△ 34	-	34	△ 34	-	34	-
持分法による投資利益	19	20	1	75	73	△ 2	60
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	△ 34	△ 4	30	△ 34	△ 15	19	
税引前利益 (△損失)	△ 36	49	85	119	△ 219	△ 338	△ 250
当期利益 (△損失)	△ 38	38	76	68	△ 310	△ 378	△ 340
純利益 (△損失) *	△ 45	34	79	41	△ 338	△ 379	△ 370
EBITDA	144	207	62	567	750	184	

円安もあり建築用ガラス、自動車用ガラス事業で増収。高騰した原燃材料コストの価格転嫁が進展

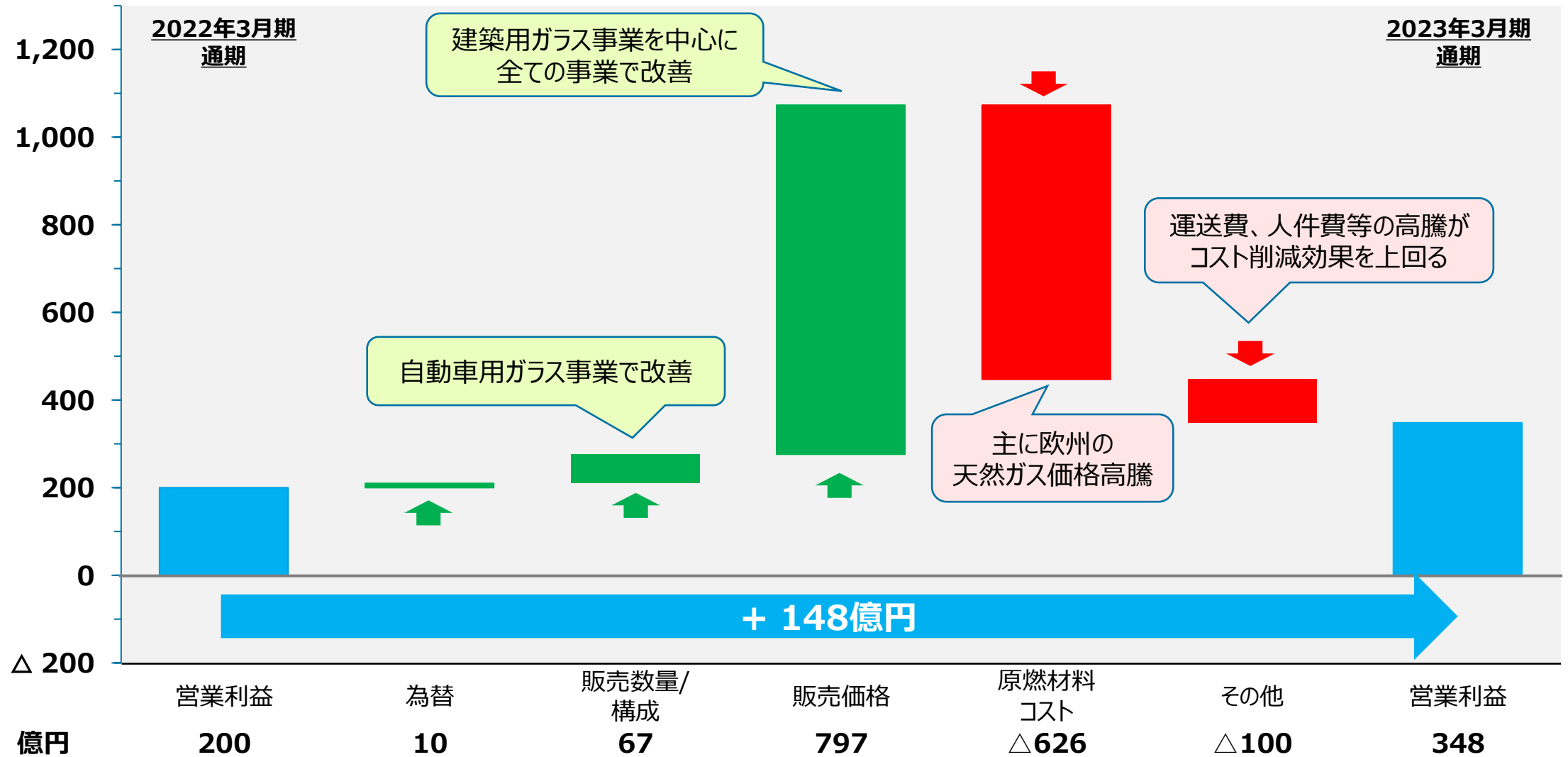
【売上高および営業利益 (事業別) : 前年比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	+841	+54
自動車用	+784	+120
高機能	△10	△12
その他	+14	△14
グループ全体	+1,630	+148

第2四半期に欧州の自動車用ガラス事業について、のれんおよび無形資産の減損損失を計上

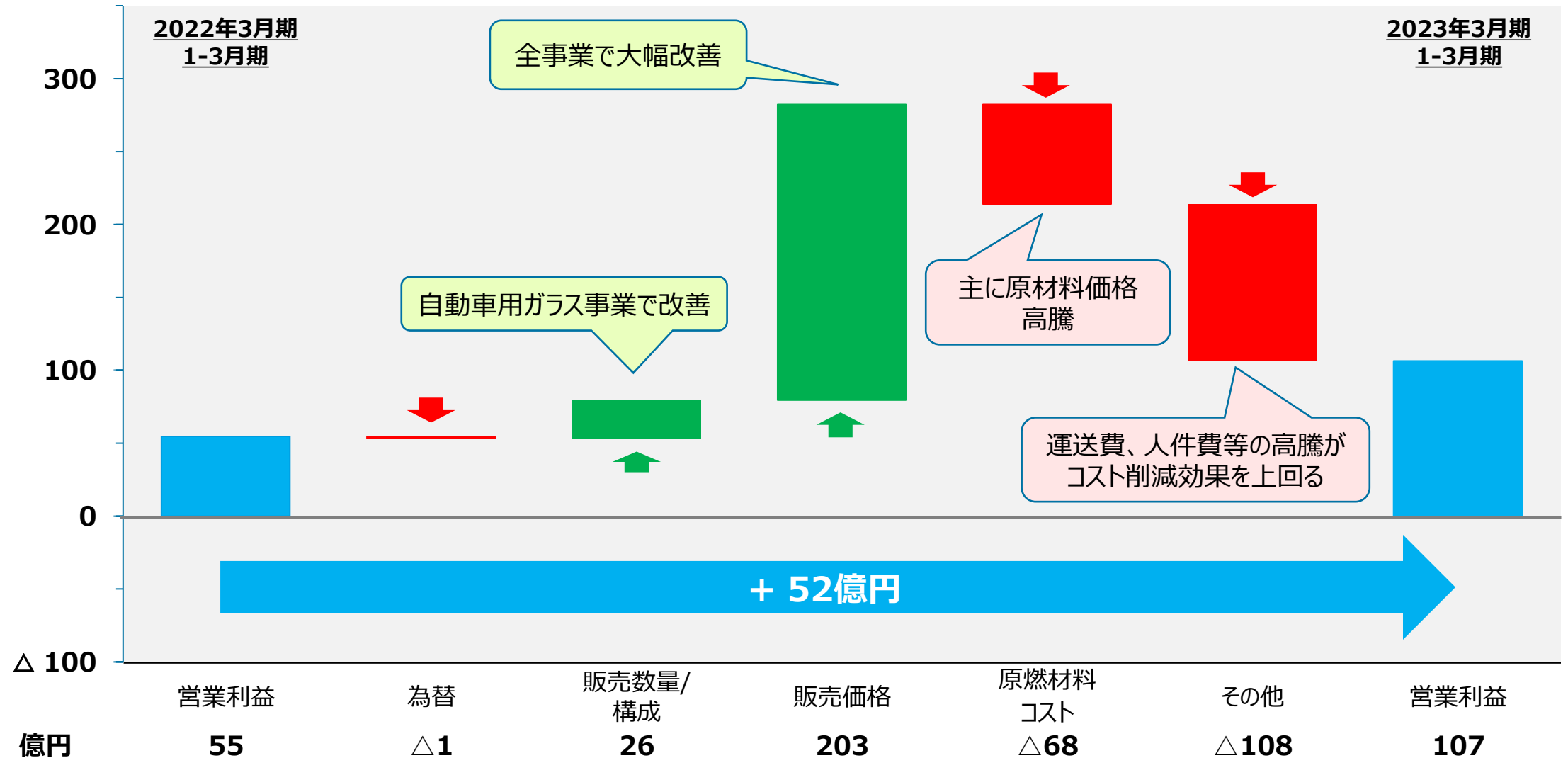
営業利益差異分析 (通期累計)

原燃材料やその他コスト増加の影響を受けたが、販売価格改善および販売数量増加で吸収



営業利益差異分析 (1-3月期)

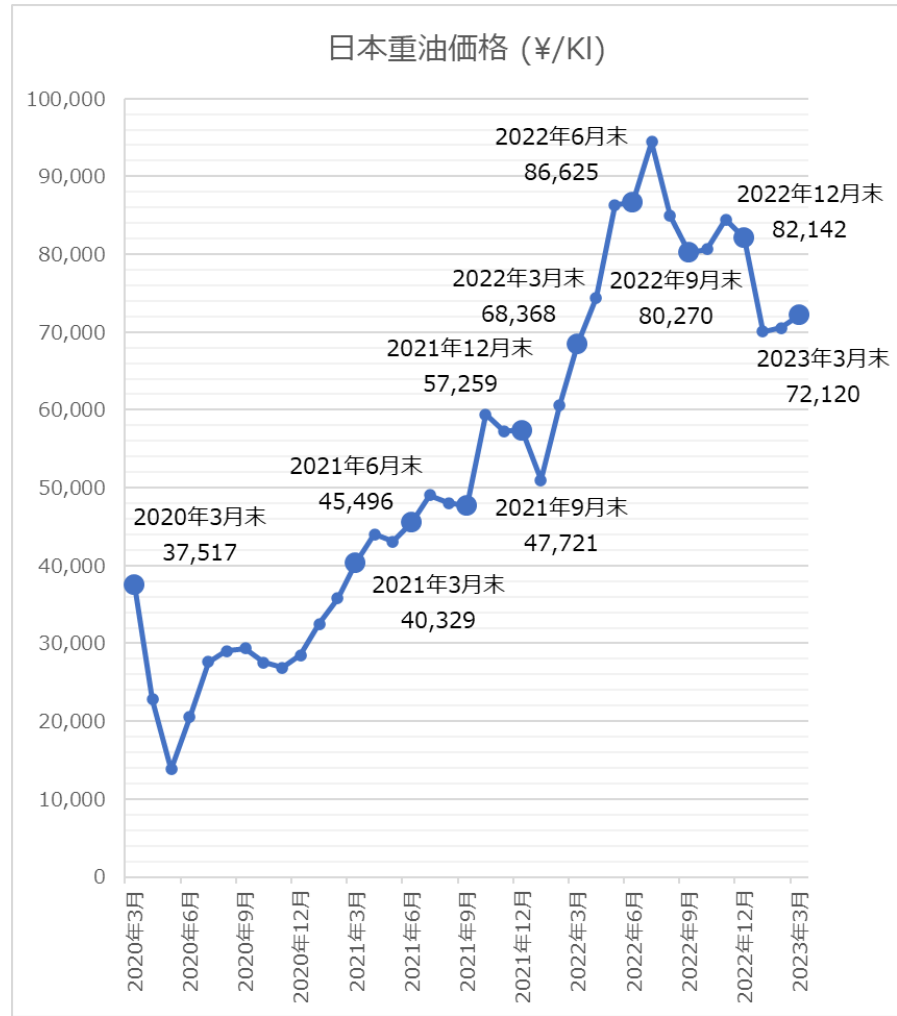
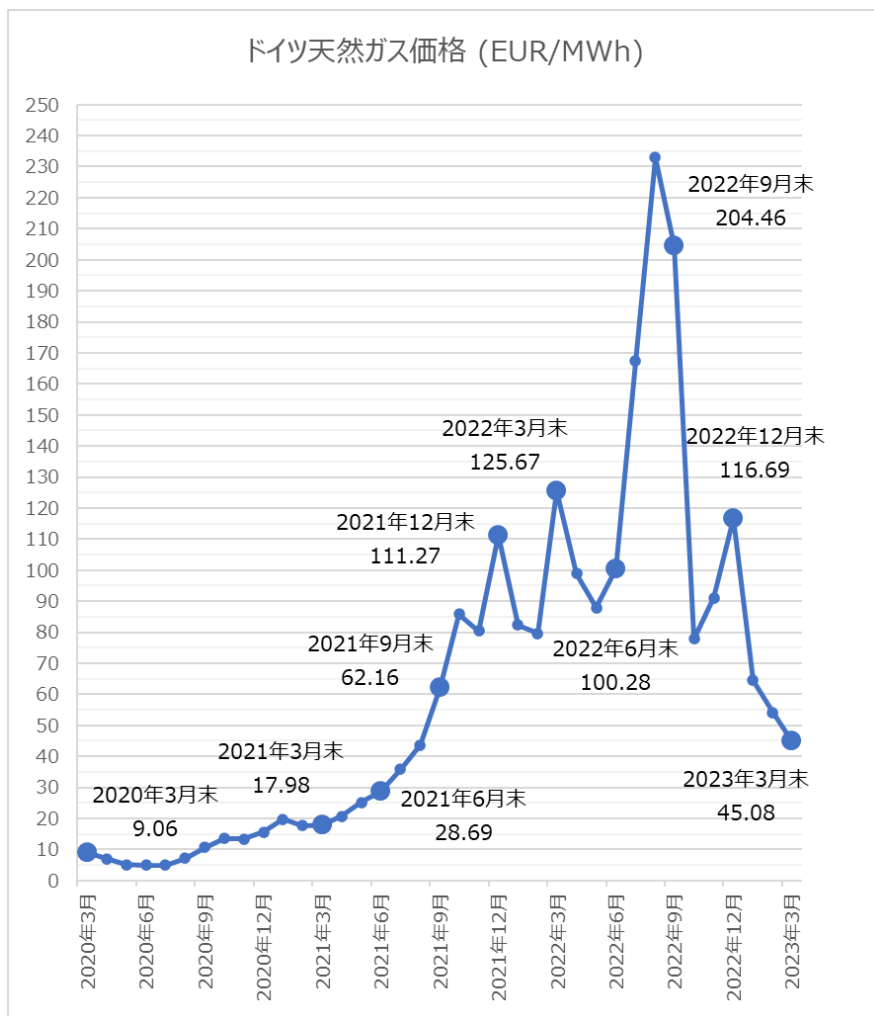
原燃材料やその他コスト増加の影響を受けたが、販売価格改善により営業利益は前年から大幅に改善



エネルギー価格の推移

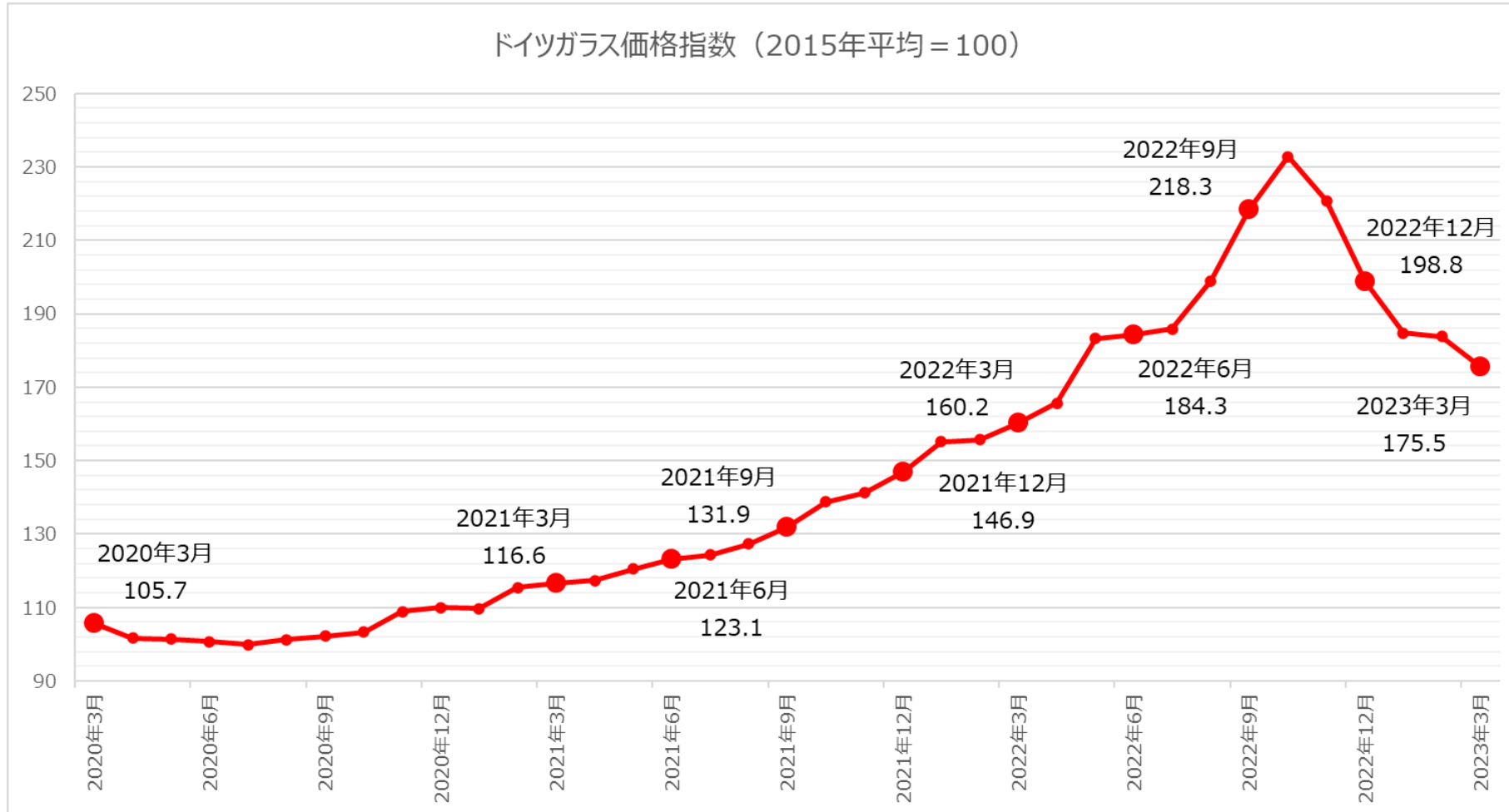
ドイツの天然ガス価格：下落傾向ながら依然高水準

日本の重油価格：当第4四半期も70,000円/KI超の高価格で推移



ガラス価格の推移

第4四半期には燃料サーチャージ制により低下したが、2023年3月期のドイツのガラス価格は前年度比年平均で+42% (136.9→194.4) 上昇。天然ガスを中心とした原燃材料価格高騰の影響を吸収



連結貸借対照表

第2四半期におけるのれんの減損後もRP24の目標数値である自己資本比率10%超を維持

(億円)	2022年 3月末	2023年 3月末	増減
資産合計	9,393	9,514	121
非流動資産	6,370	6,151	△ 220
流動資産	3,022	3,363	341
負債合計	7,699	8,265	566
流動負債	3,067	3,844	776
非流動負債	4,632	4,421	△ 211
資本合計	1,694	1,249	△ 445
親会社の所有者に帰属する持分	1,453	970	△ 483
自己資本比率 (%)	15.5%	10.2%	△ 5.3pt
ネット借入	3,652	4,079	428

第2四半期での減損認識によるのれん、無形資産の減少

棚卸資産、売上債権の増加

借入金が増加、長期借入金から1年以内借入金にシフト仕入債務の増加

第2四半期の減損損失計上、デリバティブ金融資産の減少により減少したが、超インフレ調整で一部相殺。自己資本比率10%超を維持

主に円安、デリバティブ金融資産の減少影響

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは営業利益改善により前年に続きRP24の目標数値である100億円を上回る

(億円)	1-3月期 (3か月)			通期累計 (12か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	239	402	162	451	485	34
(うち、運転資本の増減)	144	256	112	57	△ 70	△ 127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27	△ 49	△ 22	△ 228	△ 346	△ 119
(うち、有形固定資産の取得)	△ 71	△ 93	△ 22	△ 331	△ 377	△ 46
フリー・キャッシュ・フロー	212	353	140	223	139	△ 84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 89	△ 207	△ 119	△ 208	△ 79	129
現金及び現金同等物の増減	124	145	22	15	60	45
現金及び現金同等物 期末残高				600	685	85

コストおよび販売価格上昇に伴い棚卸資産、売上債権増加

前年度はバッテリーセパレーター事業の譲渡収入を計上

円安影響により増加

RP24の目標数値である100億円を上回る

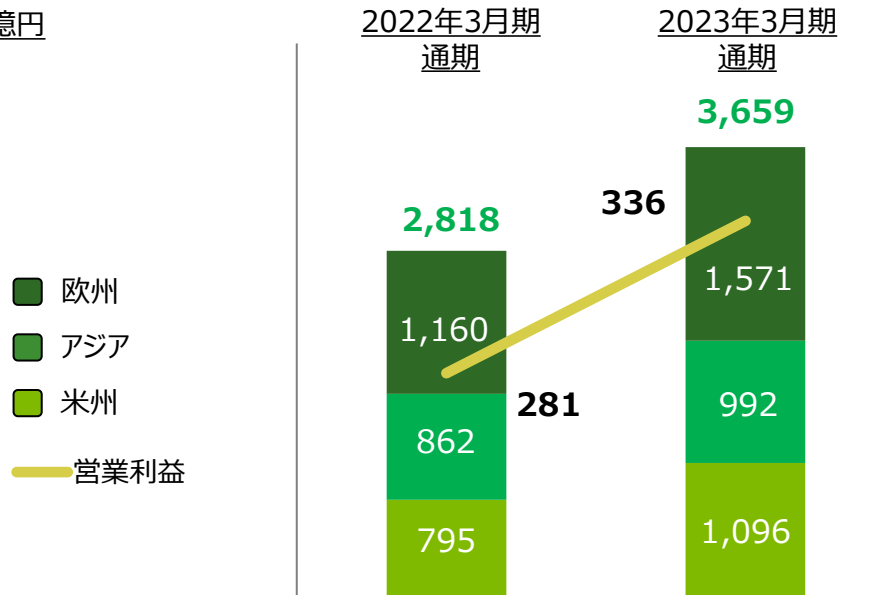
セグメント情報

(億円)	2021年3月期 通期				2022年3月期 通期			2023年3月期 通期			増減	
	売上高	%	営業利益	COVID後 営業利益*	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	2,155	43%	157	92	2,818	47%	281	3,659	48%	336	841	54
欧州	852	17%			1,160	19%		1,571	21%		410	
アジア	772	15%			862	14%		992	13%		130	
米州	531	11%			795	13%		1,096	14%		301	
自動車用ガラス事業	2,452	49%	18	△ 78	2,762	46%	△ 79	3,547	46%	41	784	120
欧州	1,036	21%			1,167	19%		1,502	20%		335	
アジア	606	12%			604	10%		699	9%		95	
米州	810	16%			992	17%		1,347	18%		355	
高機能ガラス事業	368	7%	67	65	398	7%	99	388	5%	87	△ 10	△ 12
欧州	64	1%			79	1%		95	1%		16	
アジア	293	6%			306	5%		276	4%		△ 30	
米州	11	0%			13	0%		16	0%		3	
その他	17	0%	△ 111	△ 108	27	0%	△ 101	41	1%	△ 115	14	△ 14
合計	4,992	100%	131	△ 30	6,006	100%	200	7,635	100%	348	1,630	148

建築用ガラス事業 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・減益)

通期では販売価格改善および為替影響もあり大幅増収増益
 第4四半期は原燃材料費の高止まり、運送費、人件費高騰の影響を受け減益

億円



欧州 (累計：増収・減益 1-3月期：増収・減益)

- 下半期はインフレ進行と金利上昇に伴い需要がやや減少
- その他コストや高止まりした原燃材料費を販売価格への転嫁で軽減

アジア (累計：増収・増益 1-3月期：増収・減益)

- 日本では需給改善に伴い販売価格改善がさらに進展
- その他アジアでは下半期は競合激化により販売数量減少・販売価格低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

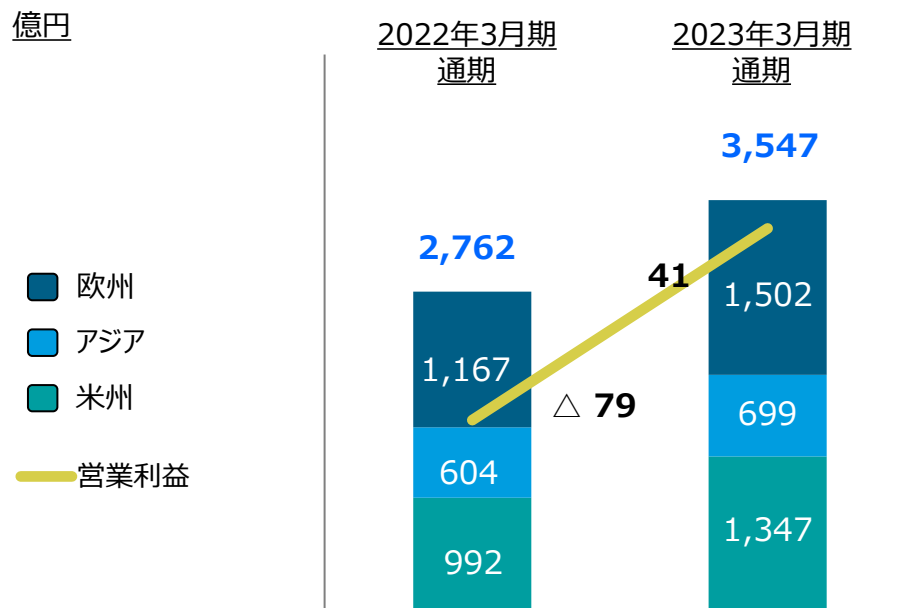
米州 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

- 北米は、輸送コンテナ不足による出荷の制約が下半期に解消、強い需要を背景に販売価格が上昇
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調
- 南米は強い需要が継続

(億円)	1-3月期(3か月)			通期累計(12か月)		
	2022年3月期	2023年3月期	差異	2022年3月期	2023年3月期	差異
売上高	750	903	153	2,818	3,659	841
欧州	318	391	73	1,160	1,571	410
アジア	215	245	29	862	992	130
米州	216	267	51	795	1,096	301
営業利益	77	74	△ 4	281	336	54

自動車用ガラス事業 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)

自動車メーカー向け販売価格改善が進捗し、通期営業黒字を達成
 部品不足による自動車生産制約の影響は、徐々に解消



欧州 (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)
 アジア (累計：増収・増益 1-3月期：増収・増益)
 米州 (累計：増収・減益 1-3月期：増収・減益)

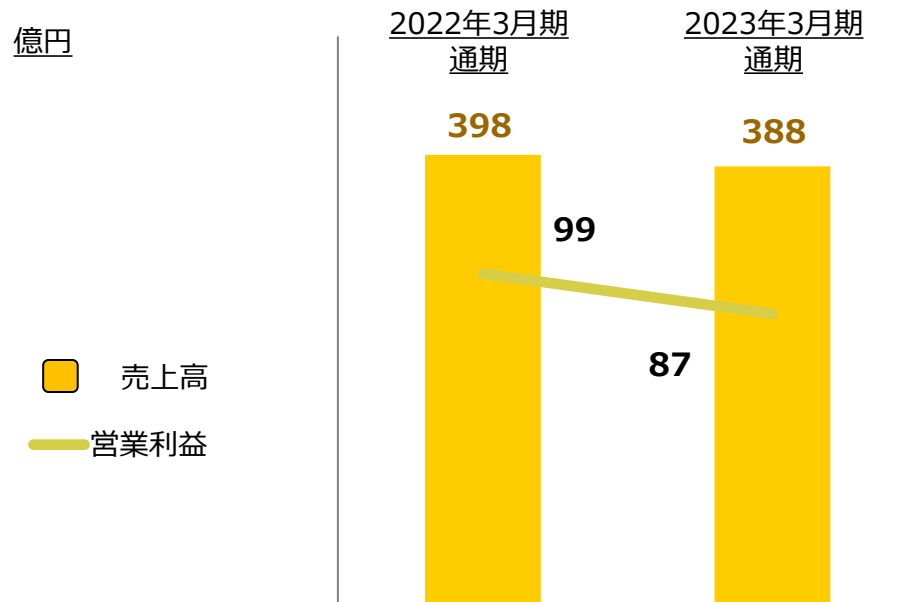
- 全地域で多くの自動車メーカーと価格改善交渉がさらに進捗し、高騰した原燃材料費を相殺
- 半導体等自動車部品不足による自動車生産の制約の影響が続いているが、徐々に解消
- 米州では需要は堅調だが、原燃材料費や運送費、人件費等その他費用の増加により減益

(億円)	1-3月期(3か月)			通期累計(12か月)		
	2022年3月期	2023年3月期	差異	2022年3月期	2023年3月期	差異
売上高	730	963	233	2,762	3,547	784
欧州	303	426	123	1,167	1,502	335
アジア	160	205	45	604	699	95
米州	266	332	65	992	1,347	355
営業利益	△20	52	72	△79	41	120

高機能ガラス事業

(累計：増収・減益 1-3月期：減収・減益)

ロックダウン及び景気減速の影響により販売数量が減少、コスト増加もあり利益率低下
 累計では増収を継続 (前年度9月に売却したバッテリーセパレーター事業を除く)



- ファインガラスでは、景気減速の影響を一部受けたが、継続的なコスト削減等により業績は安定
- プリンター用レンズは、半導体等部品不足の影響から徐々に回復したが、需要は北米や欧州でわずかに減少
- グラスコードはアフターマーケット用を中心に需要が堅調であったが、取引先のサプライチェーンの問題を受けて販売数量減少
- メタシャイン® は自動車塗料および化粧品向けで需要がわずかに改善

(億円)	1-3月期(3か月)			通期累計(12か月)		
	2022年 3月期	2023年 3月期	差異	2022年 3月期	2023年 3月期	差異
売上高	90	90	△ 0	398	388	△ 10
営業利益	21	15	△ 6	99	87	△ 12

2. 2024年3月期 業績予想について

2024年3月期 業績予想の前提

グループ	<p>売上高は横這い、営業利益は減益だが、税引前利益・当期利益・純利益は増益、黒字化の計画 RP24の最終年にあたり、引き続き重点施策「財務基盤の回復」を推進</p> <ul style="list-style-type: none">• 若干の円高を見込む• エネルギー価格はやや低下するものの、世界的なインフレ拡大等で原材料やその他コスト増加は継続• 金利上昇による潜在的な景気後退などのリスクにより事業環境は依然不透明• 引き続き全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善に努め、収益性改善に注力
建築用ガラス	<p>良好な需給環境継続を期待、一方で欧米を中心にエネルギー価格変動の影響と景気後退懸念</p> <ul style="list-style-type: none">• 欧州：エネルギー価格の変動、原材料費高騰は続くが、価格転嫁も継続。販売数量はやや減少の見込み• アジア：日本の数量および価格が回復するが、その他アジア地域での競合状況を注視• 北米：市場は好調継続ながら利上げによる景気後退懸念• 南米：タイトな需給環境が継続、アルゼンチンの新フロート窯の通年稼働が貢献• 太陽電池パネル用ガラス：堅調な需要が続き、マレーシアで生産設備が稼働予定、米国でも拡大検討中
自動車用ガラス	<p>原燃材料費高騰の影響が続くが、販売数量は増加する見込み</p> <ul style="list-style-type: none">• 全地域で強い自動車需要と在庫逼迫感は継続• 自動車メーカーとの価格改善交渉を継続• 半導体等部品不足は続くが、徐々に解消していく見込み• コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により更なる収益性改善を目指す
高機能ガラス	<p>コスト上昇およびIT市場の減速に伴う需要減少の影響を受け利益率低下</p> <ul style="list-style-type: none">• ファインガラスは、コスト削減を継続するが、景気減速の影響も懸念• プリンター用レンズは、欧米のインフレ拡大に伴う景気動向を注視• グラスコードは、安定した需要の一方で取引先のサプライチェーンの状況を注視

2024年3月期業績予想

売上高は堅調に推移するが、営業利益は世界的なインフレ拡大の影響に伴う原材料費、その他のコスト増加の影響を勘案し、減益の見通し

(億円)	2023年3月期 実績		2024年3月期 予想		増減	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	3,757	7,635	3,700	7,600	△ 57	△ 35
営業利益	144	348	140	300	△ 4	△ 48
個別開示項目 (その他)	△ 449	△ 452	10	10	459	462
個別開示項目後営業利益	△ 305	△ 103	150	310	455	413
金融費用 (純額)	△ 66	△ 174	△110	△220	△ 44	△ 46
持分法による投資利益	32	73	} 30 }	} 70 }	} 5 }	} 12 }
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	△ 7	△ 15				
税引前利益	△ 345	△ 219	70	160	415	379
当期利益	△ 370	△ 310	40	90	410	400
純利益*	△ 388	△ 338	30	70	418	408

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

持続的な成長が可能な事業体質を目指し主要施策を推進

3つの改革

● 事業構造改革

- ・ マレーシアの既存フロート窯で太陽電池パネル用ガラスのオンラインコーティング設備建設を開始（2024年3月期第3四半期より生産開始予定）
- ・ 米国でも太陽電池パネル用ガラスの拡大に向けて検討中
- ・ アルゼンチン2基目の新フロート窯建設完了、第3四半期から生産開始、市場拡大が続いている南米での事業拡大を推進
- ・ 高輪ゲートウェイ駅構内で透明太陽光発電窓パネルを使用した実証実験を開始



透明太陽光発電窓パネル

● 企業風土改革

- ・ 「Your Voice」 Surveyで従業員の声をグローバルに収集、調査結果を踏まえて企業風土改革をトップから推進すべく「リーダーシップ行動憲章」を策定
- ・ 「Inclusion & Diversity (I&D)」を「Diversity, Equity & Inclusion (DEI)」に発展、個々の従業員のキャリアパス開発、エンゲージメント向上を志向
- ・ 取締役会の多様性課題に対応して取締役候補として桜井恵理子氏を選任

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

自己資本比率、フリー・キャッシュ・フローが目標を上回る。営業利益率、純利益の改善に注力

2つの重点施策

● 財務基盤の回復

	目標数値	2022年3月期実績	2023年3月期実績
営業利益率	8%	3.3%	4.6%
純利益	3年累計300億円以上	41億円	純損失338億円
自己資本比率	10%以上	15.5%	10.2%
フリー・キャッシュ・フロー	100億円以上	223億円	139億円

- 営業利益率：原燃材料費高騰、自動車生産制約等の下、コスト削減、付加価値製品の拡大、販売価格上昇により改善
- 純利益：2022年3月期のロシアJV関連の減損損失68億円、2023年3月期のピルキントン買収に伴う欧州自動車用ガラス事業ののれん等減損損失488億円の会計処理を勘案すれば每期100億円超
- 2023年3月末現預金残高693億円、未使用融資枠462億円

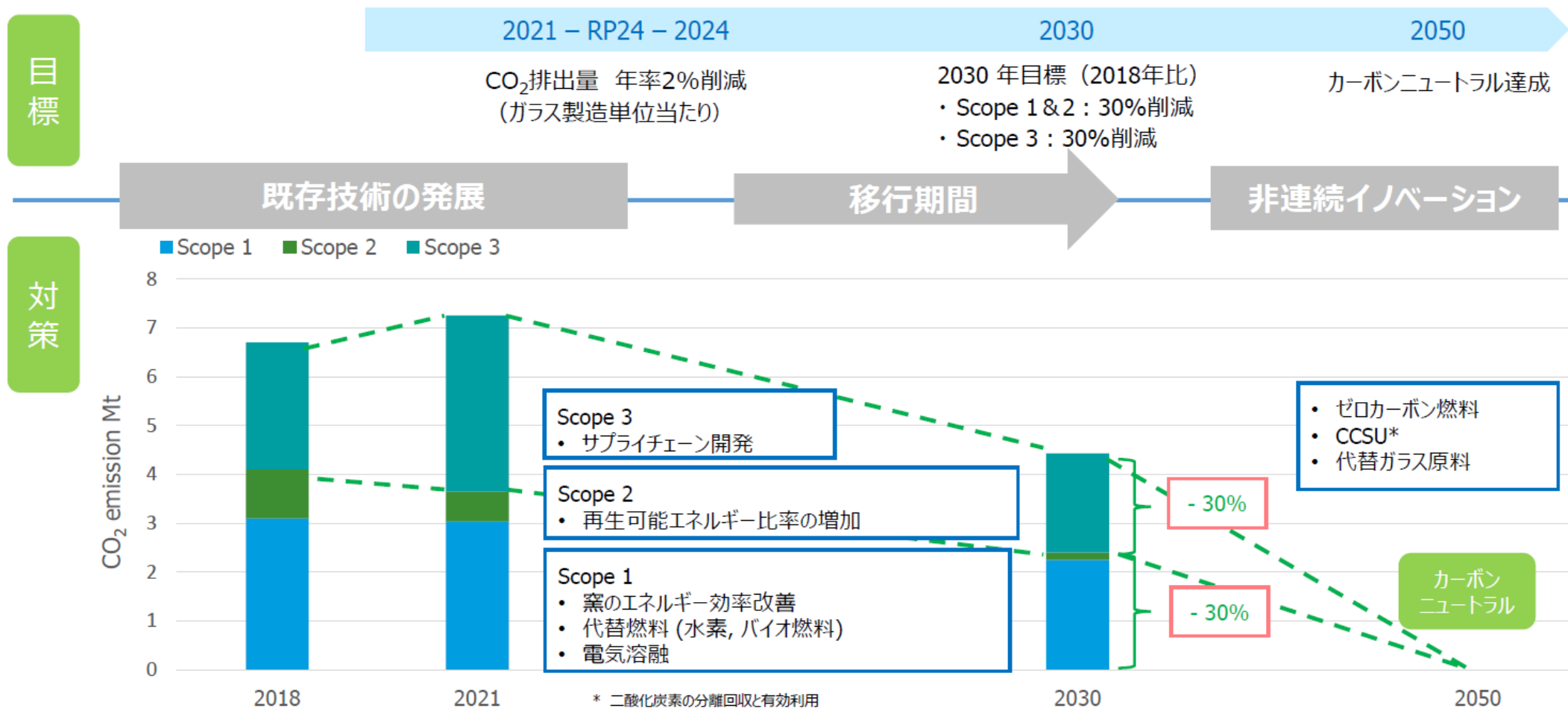
● 高収益事業へのポートフォリオ転換

- 中国の大手自動車用ガラスメーカーと中国での自動車用ガラス事業を統合

リバイバル計画24(RP24)に基づく構造改革施策の主な進捗

サステナビリティの推進

- 欧州で借入金利等の条件がグループのサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・リンク・ローンを締結、事業戦略遂行とサステナビリティ経営推進の両立につなげ、財務目標と非財務目標の統合を目指す



4. RP24の最終年2024年3月期に向けて

RP24の最終年2024年3月期に向けて

2024年3月期は、グループの未来に繋がる重要な1年。

引き続きコスト削減、付加価値製品の拡大、販売価格の改善により利益とキャッシュの積み上げを推進

2023年4月から細沼CEO体制スタート

- **引き続きRP24の構造改革施策を推進し、利益とキャッシュの積み上げに注力**
 1. 従業員の健康、安全、倫理・コンプライアンスを徹底し、従業員を守る
 2. 不安定な市場環境のなかでも積極的かつ前向きな考え方で、主要な財務目標の達成を目指す
 3. 今年度だけでなくそれ以降にもグループの成長に貢献する、"Shine"の取り組みを着実に実行する
 4. 自動化およびデジタル化の取り組みを進め、より機敏でリーンな経営を実現する
 5. サステナビリティおよび費用削減の両面から炭素排出削減に取り組む
 6. 従業員一人ひとりおよび組織全体としてのエンゲージメントを高める
- **企業風土改革：4 (=3+1) つの「F」**
Flatな組織、Frankなコミュニケーション、Fastな意思決定 + 職場におけるFun
- **将来に向けた戦略：4つの「D」**
Decarbonisation (脱炭素化)、Digital、Development (新規事業・製品開発)、Diversity
- **来年度 (2025年3月期) から始まる新中期経営計画を策定開始、グループの未来につながる1年**

5. まとめ

まとめ

1. 2023年3月期 通期決算

- 販売価格上昇、販売数量増加、また円安もあり売上高および営業利益は増収増益を継続、通期業績予想を達成
- 原燃材料やその他コスト増加の影響を販売価格改善および販売数量増加で吸収
- 建築用ガラス事業の好調が継続、自動車用ガラス事業でも価格転嫁が進捗し、通期営業黒字化
- 自己資本比率はRP24の財務目標数値である10%超を維持、フリー・キャッシュ・フローも2期連続で100億円を上回る

2. 2024年3月期 業績予想

- 売上高は横這い、営業利益は減益だが、税引前利益・当期利益・純利益は増益、黒字化の計画
- 高止まりするエネルギー価格、世界的なインフレ拡大等で投入コストや運送費、人件費等その他コスト増加の影響が継続
- 引き続き全社的なコスト削減、高付加価値製品拡大、価格転嫁に努め、収益性改善に注力

3. リバイバル計画24 (RP24) に基づく構造改革施策の主な進捗

- 事業構造改革：グローバルでは太陽電池パネル用ガラスへの投資、南米でのフロート窯投資を行い成長路線を継続
国内では高輪ゲートウェイ駅構内における透明太陽光発電窓パネルを使用した実証実験を開始
- 企業風土改革：ボトムアップとトップダウンで社内の意識改革推進、I&DをDEIに発展、取締役会の多様性を確保
- 財務基盤の回復：営業利益率、純利益の改善に注力

4. RP24の最終年2024年3月期に向けて

- 細沼CEO体制スタート
- RP24の仕上げと新中計の策定の1年

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- エネルギーコスト内訳
- 主なニュースリリース

連結損益計算書 四半期別推移

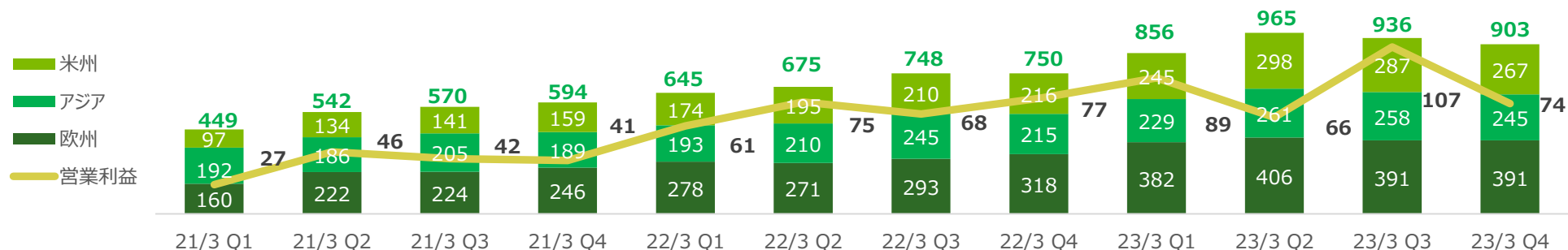
	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期			
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期
売上高	919	1,297	1,358	1,419	1,477	1,430	1,523	1,576	1,779	1,977	1,906	1,973
営業利益 (△損失)	△ 6	38	48	50	72	55	18	55	83	62	97	107
営業利益率	-	2.9%	3.5%	3.6%	4.8%	3.9%	1.2%	3.5%	4.6%	3.1%	5.1%	5.4%
個別開示項目 (COVID-19関連)	△ 115	△ 13	△ 12	△ 21	-	-	-	-	-	-	-	-
COVID-19関連個別開示項目後 営業利益 (△損失)	△ 121	25	36	30	72	55	18	55	83	62	97	107
個別開示項目 (その他)	△ 1	△ 8	10	△ 61	△ 2	47	△ 2	△ 7	23	△ 473	10	△ 12
個別開示項目後営業利益 (△損失)	△ 122	17	46	△ 31	70	102	17	48	106	△ 411	107	94
金融費用 (純額)	△ 24	△ 30	△ 21	△ 35	△ 29	△ 29	△ 32	△ 34	△ 28	△ 37	△ 48	△ 61
持分法適用会社に対する 金融債権の減損損失	-	-	-	-	-	-	-	△ 34	-	-	-	-
持分法による投資利益	△ 4	2	10	13	15	19	22	19	22	10	21	20
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	-	-	6	-	-	-	△ 34	△ 12	5	△ 4	△ 4
税引前利益 (△損失)	△ 149	△ 11	35	△ 47	55	92	7	△ 36	88	△ 434	77	49
当期利益 (△損失)	△ 165	△ 7	37	△ 28	29	67	10	△ 38	33	△ 403	22	38
純利益 (△損失)*	△ 164	△ 9	34	△ 30	25	61	0	△ 45	24	△ 412	17	34
EBITDA	61	127	135	145	165	146	111	144	180	161	202	207

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

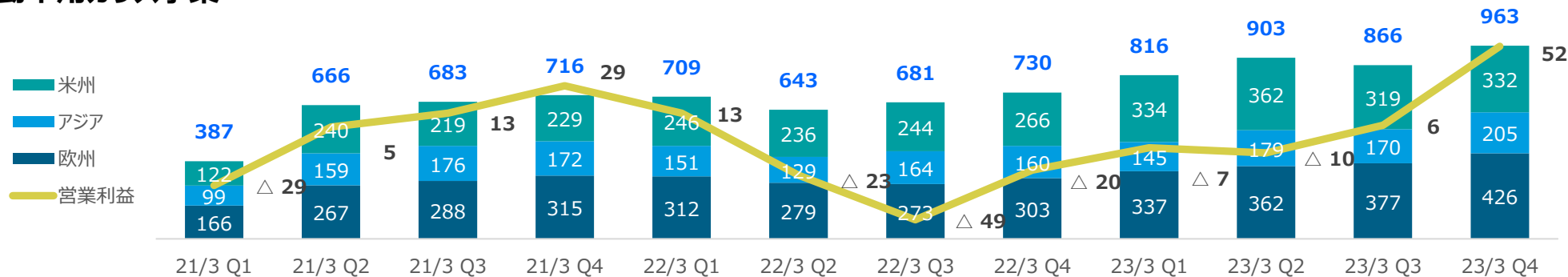
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

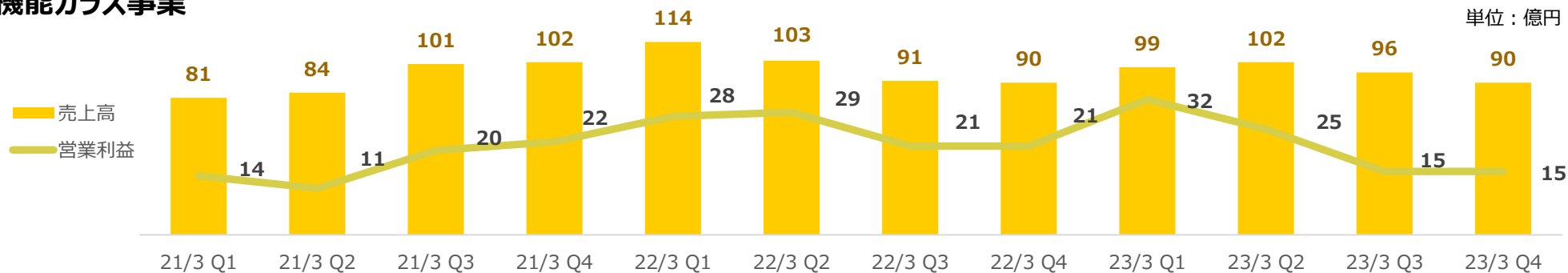
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2021年3月期					2022年3月期					2023年3月期				
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計
売上高: 建築用ガラス	449	542	570	594	2,155	645	675	748	750	2,818	856	965	936	903	3,659
欧州	160	222	224	245	852	278	271	293	318	1,160	382	406	391	391	1,571
アジア	192	186	205	189	772	193	210	245	215	862	229	261	258	245	992
米州	97	134	141	160	531	174	194	210	216	795	245	298	287	267	1,096
営業利益	27	46	43	41	157	61	75	68	77	281	89	66	107	74	336
COVID後営業利益*	△ 22	41	38	34	91	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:自動車用ガラス	387	667	682	716	2,452	709	643	681	730	2,762	816	903	866	963	3,547
欧州	166	267	288	315	1,036	312	279	273	303	1,167	337	362	377	426	1,502
アジア	99	159	176	173	606	151	129	164	160	604	145	179	170	205	699
米州	122	241	219	229	810	246	236	244	266	992	334	362	319	332	1,347
営業利益	△ 29	5	13	29	18	13	△ 23	△ 49	△ 20	△ 79	△ 7	△ 10	6	52	41
COVID後営業利益*	△ 93	△ 6	4	17	△ 78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:高機能ガラス	81	84	101	102	368	114	103	91	90	398	99	102	96	90	388
欧州	13	14	18	19	64	21	18	20	20	79	21	25	22	27	95
アジア	65	67	80	81	293	90	82	68	66	306	75	73	70	58	276
米州	3	3	3	3	11	3	3	3	4	13	4	5	4	4	16
営業利益	14	11	20	22	67	28	29	21	21	99	32	25	15	15	87
COVID後営業利益*	12	10	21	22	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:その他	2	4	5	6	17	9	8	3	7	27	8	7	9	18	41
営業利益	△ 18	△ 23	△ 28	△ 42	△ 111	△ 31	△ 25	△ 22	△ 24	△ 101	△ 31	△ 19	△ 31	△ 34	△ 115
COVID後営業利益*	△ 18	△ 20	△ 27	△ 43	△ 108	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
売上高:合計	919	1,297	1,358	1,419	4,992	1,477	1,430	1,523	1,576	6,006	1,779	1,977	1,906	1,973	7,635
営業利益	△ 6	38	48	50	131	72	55	18	55	200	83	62	97	107	348
COVID後営業利益*	△ 121	25	36	30	△ 30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*COVID-19関連個別開示項目後営業利益

地域別売上高および営業利益

(億円)	2022年3月期 通期			2023年3月期 通期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	2,406	40%	△ 8	3,168	41%	102	762	109
アジア	1,772	30%	204	1,967	26%	229	195	25
米州	1,800	30%	105	2,459	32%	133	659	28
その他 *	27	0%	△ 101	41	1%	△ 115	14	△ 14
合計	6,006	100%	200	7,635	100%	348	1,630	148

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期
リストラクチャリング費用	△ 7	△ 4
リストラクチャリング引当金の戻入益	4	19
のれんおよび無形資産の減損損失/減損損失戻入益	1	△487
係争案件の解決に係る収益 (△費用) 純額	△ 6	28
子会社売却・事業譲渡による利益	44	15
固定資産売却による利益	-	7
固定資産の減損損失	△ 6	△ 26
その他	△ 0	△2
個別開示項目 純額	36	△ 452

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期				2024年 3月期
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	見通し
英ポンド	133	135	136	139	153	152	153	153	163	163	164	163	160
ユーロ	118	121	123	124	132	131	131	130	138	139	140	141	134
米ドル	107	106	106	106	109	109	112	112	129	134	137	135	134
ブラジル・リアル	19.9	19.8	19.7	19.7	20.6	20.8	20.7	21.0	26.4	26.4	26.5	26.3	24.8
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用												

期末レート

	2021年 3月期				2022年 3月期				2023年 3月期			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
英ポンド	132	135	141	152	153	150	156	160	165	161	160	165
ユーロ	121	124	127	130	132	129	131	136	142	141	140	145
米ドル	107	105	103	111	111	112	116	122	136	145	132	133
ブラジル・リアル	19.9	18.7	19.8	19.1	22.3	20.6	20.4	25.5	26.2	26.7	25.7	26.2
アルゼンチン・ペソ	1.53	1.38	1.22	1.20	1.16	1.13	1.12	1.10	1.09	0.98	0.76	0.64

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、為替レートが他の通貨に対して1%円高になった場合の影響額

	2023年 3月期
資本	30.0億円の減少
当期損失	4.0億円の改善

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2022年3月期 通期	2023年3月期 通期	2024年3月期 見通し
減価償却費	367	402	440
資本的支出	286	409	477
通常投資	246	365	
戦略投資、他	40	44	
研究開発費	77	91	100
建築用ガラス事業	24	28	
自動車用ガラス事業	23	27	
高機能ガラス事業	9	10	
その他	22	26	

エネルギーコスト内訳 (2022年3月期→2023年3月期)

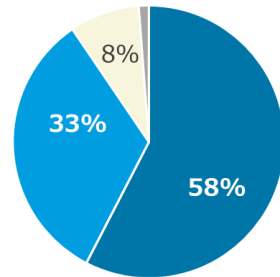
エネルギーコストは前年同期比グループ全体で+59%*、天然ガスは+76%。

天然ガス価格は下半期に低下したが依然高値圏。

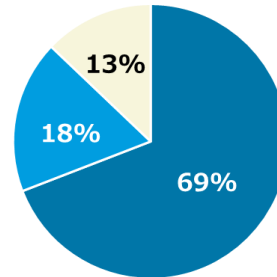
地域別では欧州および米州、事業別では建築用ガラス事業に大きなコスト上昇圧力

2022年3月期 (通期)

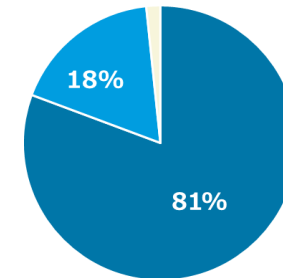
グループ全体 (エネルギー別)



天然ガスグループ全体 (地域別)



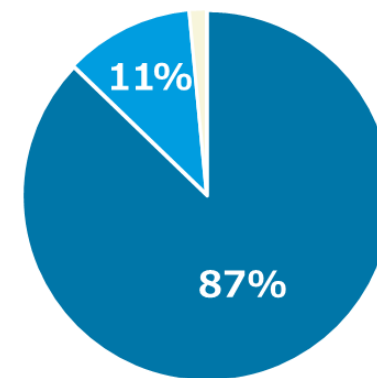
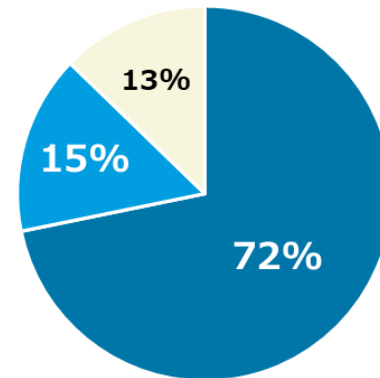
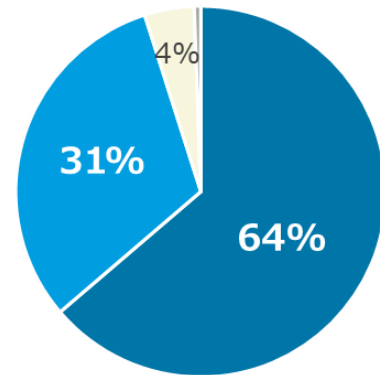
天然ガスグループ全体 (事業別)



+59%、天然ガス+76%

欧州+82%、米州+74%

建築用+90%



■天然ガス ■電気 ■重油 ■その他

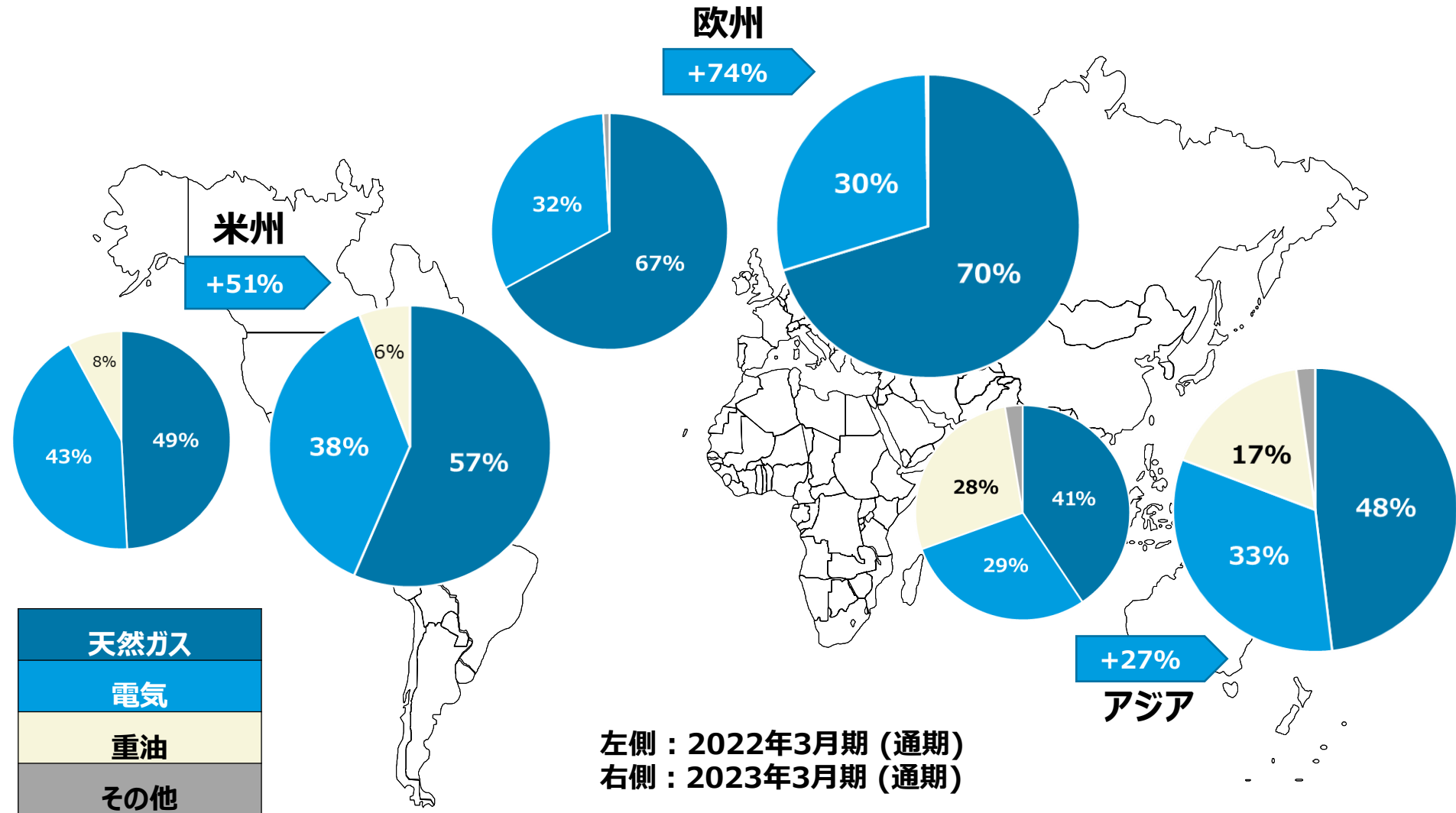
■欧州 ■アジア ■米州

■建築用 ■自動車用 ■高機能

2023年3月期 (通期)

エネルギーコスト内訳 (地域別)

天然ガス価格の高騰は欧州、米州を中心に全世界的にエネルギーコストに大きな影響を与える



2022年11月～2023年4月 主なニュースリリース

(<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/media>)



2022年11月8日	～災害ゼロの職場環境の実現を目指して～ 世界全拠点で「NSGグループ安全の日」活動を一斉実施
2022年11月29日	世界最大級の高機能素材の総合展「第13回 高機能素材Week／プラスチックジャパン」に出展
2022年12月2日	国内最大・最先端のマシンビジョンが集う展示会「国際画像機器展 2022」に出展
2022年12月16日	「技術研究所 第二研究棟」の竣工式を開催 —高付加価値製品をより迅速に開発できる体制を目指して—
2022年12月19日	2022年度 全上場企業ホームページ充実度ランキングで最優秀サイトに選ばれました
2022年12月21日	インクルージョン&ダイバーシティの推進活動 -不妊治療と仕事の両立についてのセミナー、女性社員向けキャリアワークショップの開催-
2023年1月25日	環境配慮型調光ガラスが、九段会館テラスに採用
2023年2月8日	公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 第40回研究成果発表会開催
2023年2月15日	相模原事業所が「さがみはらSDGs推進企業」に認証
2023年3月9日	「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に認定
2023年3月16日	「NSGグループ環境安全衛生アワード2022」を全世界で実施
2023年3月17日	CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定
2023年4月21日	英国でフロート板ガラスと型板ガラス共用の溶融窯への投資を決定
2023年4月26日	高輪ゲートウェイ駅構内における透明太陽光発電窓パネルを使用した実証実験の開始について

NSG

GROUP